

事業所における自己評価結果(公表)

実施: 令和5年11~12月

公表: 令和6年2月28日

事業所名 放課後等デイサービス音色

職員数:8(常勤:4・非常勤:4) 回収数:5 割合:62.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	0	・基本的に主活動や自由時間は活動部屋を使用し、宿題やクールダウンをする際は学習室を使用して使い分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	・常勤4名、非常勤4名で4~6名を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	1	・玄関やキッチンに段差があるが、現在は利用者に肢体不自由児や車いす使用児等が含まれていないため、今後バリアフリー化が必要になった際に検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	・毎日の朝礼・終礼と、毎月一回の職員会議と支援会議にて、業務改善のための振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3	0	・保護者向け評価表を活用し、年1回アンケート調査を行っており、それをもとに業務改善を図っている。また、日々のコミュニケーションやモニタリング時に意向を伺っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	0	・ホームページにて公開し、紙媒体で保護者に配布している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	・現在は外部の第三者委員会を設けていないが、設置に向けて検討している。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2	0	・当法人主催のセミナーに参加させ、研修の機会を確保している。また、外部の研修にも積極的に参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・独自のアセスメントシートを作成し、保護者との面談を通して計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	・保護者の同意を得られた場合に年1回Vineland-II(適応行動尺度)を使用してアセスメントをしている。また、必要に応じて知能検査等を実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	・担当職員が提示し、全職員の話し合いの中で活動内容を決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	・月ごとに活動内容を変え、季節に合った内容にしたり、同じ活動でもバリエーションを増やして固定化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	0	・長期休暇中は、個々の課題について確認して取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・毎日の朝礼の中で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	・毎日の終礼の中で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・毎日の日報と個人記録を作成し、検証、改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	0	・6ヶ月に一度モニタリングを行い、サービス計画の見直しを図っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	2	0	・ガイドラインの内容に沿った活動を提供している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	・管理者兼児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	・学校通信等を提出していただき、情報共有を図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	0	・看護師不在の為、当事業所では医療ケアが必要な子どもは受け入れていない。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	0	・必要に応じて担当者会議の場で情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	0	・保護者の希望があれば行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	・地域の療育部会に参加し、連携・助言・研修等の機会がある。また、自社の研修に積極的に参加している。また、地域研修を行って頂いた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	0	・児童クラブや児童館との交流はないが、地域の公園を利用する際に地域の子どもたちと交流の機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	0	・2ヶ月に一回の会議には必ず出席し参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・送迎時や連絡帳を活用し、共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0	・ペアレント・プログラムを実施している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	・契約時において重要事項説明書で説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	・保護者からの要望があれば、事業所内相談支援サービスを提供している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	0	・年に2回の保護者会を開催しており、一緒に茶話会も実施。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2	0	・苦情対応の体制については、契約時に重要事項説明書で説明しているが、周知徹底をしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・通信やSNSで情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	・個人情報の扱いは十分に注意し、通信等で写真を掲載する場合は、必ず写真を見せて確認を取っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	0	・三重支部や地域の事業所の方々を招いて、見学会や交流会などのイベントを行った。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	0	・マニュアルは職員には定期的に周知しており、災害時対応や感染症の対応については通信等でお知らせをしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0	・活動の一貫で年に2度避難訓練(火災、地震)や通報訓練、防災センターへの見学をしたり、職員向けにAED講習や通報訓練を行ったりした。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	0	・管理者が県の研修に参加し、研修後に職員に共有している。社内でも定期的に研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0	・身体拘束の必要性がある利用者の保護者に対して同意書をもとに説明した上で個別支援計画に掲載している。市町村や相談員にも報告している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	0	・食物アレルギーがあるかどうかを契約時や更新時に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0	・ヒヤリハット事例があった際は、事業所内で共有を図り、記録している。